

公益財団法人まちみらい千代田
第7期第1回評議員会 議事録

1 日時

令和元年8月21日(水)午後4時～午後5時20分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 4階401会議室

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(8名)

鈴木潔会長、鎌倉勤副会長、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、高山肇、谷眞理子、脇宗一郎

[欠席者：山本久喜]

(2) 理事(1名)

立川資久理事長

(3) 監事(2名)

渡邊牧文、保科彰吾

(4) 事務局(4名)

小林秀和事務局長

伊澤優グループマネージャー(以下GMという。)、加藤英明GM、佐波玲子GM

5 議題

(1) 議案 第1号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

(2) 議案 第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第6期事業報告(案)について

(3) 議案 第3号 公益財団法人まちみらい千代田 第6期決算(案)について

(4) 議案 第4号 公益財団法人まちみらい千代田 満期保有目的債券の一部売却について

6 開会、あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。定款第25条により、評議員会の議長を務める鈴木会長が開会を宣言し、立川理事長にあいさつを求めた。立川理事長はあいさつの中で、第6期に

取り組んだ事業の概要説明を行った。

次に議長が第6期第3回評議員会(本年5月22日開催)で監事に選任された保科監事にあいさつを求め、保科監事があいさつを行った。

次に議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の高山評議員と脇評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議案の審議に入った。

7 議事の経過および結果

(1) 議案 第1号 公益財団法人まちみらい千代田 理事の選任について

小林事務局長から議案第1号について、説明を行った。理事全員が本定時評議員会の終結と同時に任期満了となり、退任することとなるので、その改選の必要がある旨を説明し、理事候補者を議案(別紙)のとおり提案した。

小林事務局長の説明後、議長が議事整理のために、理事の選任を一括審議・議決することの可否を諮ったところ、出席評議員全員が一括審議・議決に同意した。

議案第1号は、審議の結果、以下のとおり選任することに全員異議なく議決した。

[再任]

石田大介、齊藤広子、立川資久、細越正明、前川秀樹、矢ヶ崎淳子

任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会終結の時まで(令和3年8月予定の定時評議員会まで)

(2) 議案 第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第6期事業報告(案)について

(3) 議案 第3号 公益財団法人まちみらい千代田 第6期決算(案)について

議案の審議に入る前に議長から、議案第2号および議案第3号については双方関連があるため一括して審議・議決を行いたい旨を提案したところ、全員異議なく了承した。

第6期事業報告(案)について、各GMから担当事業の報告を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、伊澤GMが報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、加藤GMが報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、佐波GMが報告を行った。

各GMから担当事業の報告後、小林事務局長から第6期決算(案)の財務状況や執行状況について報告した。議案の審議に先立ち、渡邊監事から監事監査(令和元年7月16日実施)の結果について決算資料が正確であり、業務が適正に執行されている旨の報告が行われた。

議長が議案第2号および議案第3号を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

なお、審議の中で以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

千代田区やまちみらい千代田では、出版社に対する支援制度はあるのか。

(まちみらい千代田)

出版社に対する支援制度はないが、まちみらい千代田が実施する「マネジメント・サポートデスク」や「ビジネス法律相談」で業種に限らず、相談等に応じることができる。

(評議員)

マンション再生計画検討助成など、実績がゼロや少ない助成事業が見受けられる。これは、マンション管理組合の特徴として、意思決定に時間がかかることが原因と考えられる。このようなことを踏まえ、粘り強く事業を継続してほしい。

また、防災アドバイザーの実績が少ないのは、防災用品の管理問題や新たに防災計画を作成するために時間がかかることなどが原因と考えられる。しかし、派遣する防災アドバイザーは、それらの問題に対応できる知識を有しているため、同制度をもっとアピールする必要がある。

なお、E Vキャビネットの配付を受けたマンションからは、業者の対応を含め、非常に良いとの報告を受けている。

(まちみらい千代田)

高経年のマンションが増えている中で、実績が少ないからとマンション再生計画検討助成などの事業をすぐに廃止することはない。重要な助成制度だと考えている。防災アドバイザー派遣については要望に対して、きめ細かく対応する。

(評議員)

管理会社に委託しているマンションは、どのくらいあるのか。

(まちみらい千代田)

「千代田区分譲マンション実態調査報告書」に記載のとおり、85.8%のマンションは管理会社にすべて委託している。一部委託を含めるともっと多くなる。

(評議員)

課題の多いマンションを抽出し、支援先の優先順位付けするなど、マンション実態調査結果を有効に活用してほしい。

(評議員)

「千代田区分譲マンション実態調査報告書」で、バブル期(1988年前後)の分譲マンション新規供給棟数が少ないが、このような自治体は非常に珍しい。

(4) 議案 第4号 公益財団法人まちみらい千代田 満期保有目的債券の一部売却について

小林事務局長から議案第4号について、説明を行った。借上型区民住宅に係る敷金預り金の運用債

券は、「満期保有目的債券」であるため、その売却にあたっては、評議員会の決議を得る必要があることを説明した。また、このことにより、残りの債券を「その他有価証券」の区分に振り替えることのほか、売却時期(9月)についても説明した。

議長が本議案を出席している評議員に諮ったところ、全員異議なく議決した。

8 閉会

以上をもってすべての議事を終了したので、午後5時20分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長および評議員がこれに署名、押印する。

令和元年8月21日

公益財団法人まちみらい千代田
第7期第1回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 高 山 肇 ⑩

議事録署名人 脇 宗一郎 ⑩